

令和7年度

上向台小学校

地域とともにある学校づくり
4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 「ごみ調査隊 ～どうしたらごみを減らせるのだろう～」
(活動名)

ねらい： 社会科を中心とした学習を通して、埋め立て処分場には限りがあることを理解するとともに、自分の生活を見直し、ごみを減らすための工夫を考えることができる。ごみを減らす工夫としての削減・再利用・資源化(3R)や、地域の取組を理解するとともに、自ら工夫してごみを削減し、環境を保全しようとする態度を育てる。

【1学期】

社会科「ごみの処理と再利用」で学んだことから、上小のごみの実態について、主事さんや栄養士の先生にインタビューをしたり、実際にごみ拾いをしたりして、調査し、新聞にまとめる活動をしました。

「このままではよくない!」と、普段過ごしている学校について改善したいという意欲が高まりました。



【2学期】

1学期に上小のごみの実態を調査して学んだことを踏まえ、ごみ減量推進課の方に質問をさせていただき、西東京市のごみの実態について学ぶことができました。また、(株)ニチバンの巻心 ECO プロジェクトにも参加し、テープ芯を分別すると自然に還元されるということも学ぶことができました。「ごみの分別をしっかりとしてほしい。」という思いから、ポスターを作り、近隣の施設や商店にポスターを貼っていただきました。また、上小のビオトープの整備に取り組むグループもありました。



【3学期】

保護者の方や地域の方を招いて、「ECO INNOVATION 2026～見て、知って、変わる未来～」を開くことにしました。ごみを減らすための工夫、自分たちにできることを様々な面から考えました。当日は、多くの保護者を始め、地域の方、資源減量推進課の方、出張授業に来ていただいた企業の方など多くの方々にお越しいただき、1年間の思いを直接伝えることができました。



まとめコラム

社会科の学習をきっかけに、ごみ問題に目を向けました。初めは「ごみを減らす大切さ」について、あまり実感が伴いませんでした。環境問題に携わっている社会人の方との関わりを通して、自分たちにできることを実践したいという意欲が高まったように感じます。これからも、様々な場面で地域と関わり、地域の一員として、「自分ができることをしていきたい」という思いをもつことができるようにしていきます。